

宇宙開発の現状報告

(平成 23 年 4 月 20 日(水) ~ 平成 23 年 4 月 26 日(火))

平成 23 年 4 月 27 日
宇宙開発委員会事務局

宇宙開発に関する国内の動向

- 陸域観測技術衛星「だいち」(ALOS)の電力異常について
平成 18 年 1 月 24 日に打上げられた陸域観測技術衛星「だいち」(ALOS)は、設計寿命 3 年、目標寿命 5 年を超えて運用していたところ、4 月 22 日(金)7 時 30 分頃、急な発生電力の低下とともに、軽負荷モード(衛星の機能を最低限に維持するために消費電力を節減するモード)に移行し、搭載観測機器の電源がオフ状態となっていることが判明したと、同日 JAXA が発表した。その後、発生電力低下が急速に進み、現在、発生電力は確認できていない。JAXA は、原因調査を進め、必要な対策を講じていく予定である。
- 平成 23 年度「宇宙の日」全国小・中学校作文絵画コンテストの作品募集について
4 月 25 日(月)に文部科学省は、「宇宙の日」全国小・中学校作文絵画コンテストを実施することを発表した。同コンテストは、9 月 12 日の「宇宙の日」の記念行事として、小・中学校を対象に、文部科学省ほか 6 法人主催で実施する。今年度は「さあ出発だ！宇宙への冒険旅行」をテーマに、7 月 31 日(日)まで作文・絵画の 2 部

門で作品を募集する。なお、東日本大震災の被災地域において、作品の作成に必要な文具が入手できない方に対し、文具の貸出・提供等を行う。

- 技術試験衛星 型「きく 8 号」(ETS-)による宮城県牡鹿郡女川町への人工衛星回線の接続開始について
4 月 26 日(火)に JAXA は、東日本大震災における災害対策支援として宮城県牡鹿郡女川町へ「きく 8 号」を用いた人工衛星回線の接続を開始したことを発表した。JAXA は、女川町災害対策本部より要請を受けた文部科学省の依頼に基づき、4 月 26 日(火)に女川町高白浜の避難所に「きく 8 号」の地上アンテナと可搬型通信実験用端末を設置し、これにより、避難所へのインターネットによる復旧に関する即時の情報提供が可能となった。
なお、JAXA では、岩手県から要請を受けた文部科学省の依頼に基づき、災害対策支援として「きずな」及び「きく 8 号」が利用されていたが、地上通信インフラが回復したことから、岩手県からの申し出により、4 月 24(日)をもって終了した。

宇宙開発に関する海外の動向

- PLSV ロケット、地球観測衛星等の打上げに成功 【印等】
4 月 20 日(水)4 時 42 分(世界標準時、以下同じ)、インド宇宙研究機関(ISRO)は、Satish Dhawan Space Centre より、PSLV-C16 ロケットを打ち上げ、ISRO の地球観測衛星「Resat-2」、インドとロシアの学生による共同運用の太陽観測衛星「Youthsat」、シンガポール南洋大学の技術実証衛星「X-Sat」の所定の軌道投入

(低軌道)に成功した。打上げ時の質量は合計約 1,404 kg。

- アリアンロケットによる通信衛星の打上げに成功 【仏等】
4月22日(金)21時37分、アリアンスペース社は、ギアナ宇宙センターよりアリアン 5 ECA ロケットを打ち上げ、アラブ首長国連邦(UAE)の通信衛星運用企業 Al Yah Satellite Communications (Yahsat)社の通信衛星「YahSat-1A」及びインテルサット社の商業通信衛星「ニュー・ドーン(New Wawn)」の所定の軌道投入(静止トランスファ軌道)に成功した。打上げ時の質量は合計約8,935 kg。